

戦争をするな！ 憲法を守れ！

2026年5月3日(憲法記念日)の新聞紙上に戦争準備と大軍拡に反対し、憲法遵守の政治を求める意見広告を掲載しよう

少数与党となった自民党は憲法9条2項(戦力の不保持・交戦権の否認)の削除を主張する日本維新の会と連立を組み、2025年10月、高市早苗政権が発足しました。高市首相は所信表明演説で、岸田政権時に2027年度とした防衛費GDP比2%目標の2025年度中への前倒しを明言。隣国を攻撃できる長射程ミサイルの全国配備や殺傷武器の輸出拡大など軍需産業を国策として後押しし、大軍拡、戦争国家への道を猛スピードで進んでいます。また、来日したトランプ大統領と共に米原子力空母ジョージ・ワシントン上で米軍兵士の前に立ち、日米の軍事的一体化を強くアピールしました。さらに、危険な「スパイ防止法」の制定も狙っています。

日本国憲法は前文で、政府に再び戦争の惨禍を起こさせない決意を述べています。これは15年にも及ぶ無謀で悲惨な侵略戦争の結果、日本がたどりついた結論です。誤った歴史に正面から向き合い、そこから学び続ける市民が平和国家の礎を築けるとというのが日本国憲法の本質です。

戦争を体験した政治家は少なくなり、歴史を歪曲する政治家も増え、戦争の残酷さと罪過が忘れられようとしています。裏金問題や旧統一教会との関係などは置き去りにされたまま、各種世論調査で高市政権は高い支持率を得ています。このような状況の中で、人権と民主主義を踏みにじる政治を許さず、「憲法9条の理念を守り、戦争を起こさない未来をつくる」ために声を上げ続けることは、主権者である私たち市民の責務だと考えます。**ますます加速する戦争への流れを止められるのは「今」、「私たち」しかありません。**

2026年(第28回)市民意見広告運動は「誰でも参加できる紙上のデモ(意見表明)」として、5月3日憲法記念日の新聞に意見広告を掲載することを呼びかけます。ぜひ賛同して皆さんの意思を表明してください。またこのチラシをご友人、お知り合いにも手渡して「非戦」の輪を広げてください。

(この「払込取扱票」つきチラシは送料とも無料で必要枚数をお送りします。意見広告の掲載紙、賛同方法などは裏面をご覧ください)

2025年12月1日

市民意見広告運動／市民の意見 30の会・東京

市民意見広告運動

〒108-0073 東京都港区三田3-4-17-206

TEL 03-6435-2030 FAX 03-6435-2031

Eメール info@ikenkoukoku.jp ウェブページ https://www.ikenkoukoku.jp

*この運動は、いかなる政党・政治団体にも属さない市民運動です。

*常駐スタッフがおりませんので、お問い合わせはメール、FAXもしくはお手紙をお願いします。



(スマホでウェブページが見られます)

キ リ ト リ 線

00	東京	払込取扱票									
口座記号番号											
001105723920											
金額											
千 百 十 万 千 百 十 円											
0 0 1 1 0 5 7 2 3 9 2 0											
市民意見広告運動											
料金											
備考											
* 賛同金											
* 個人 (1口2,000円) <input type="checkbox"/>											
* 団体 (1口4,000円) <input type="checkbox"/>											
* 意見広告紙面への名前掲載の可否											
可・不可 <input type="checkbox"/>											
【どちらかを○で囲んでください。○がない場合は、可とみなして掲載します】											
フリガナ											
おなまえ											
郵便番号											
携帯電話											
電話											
日											
附											
印											
メールアドレス											

裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 東第49436号)

これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	001105723920										
市民意見広告運動											
金額											
千 百 十 万 千 百 十 円											
おなまえ											
ご依頼人											
料 (消費税込み)											
日 附 印											
金 円											
備考											

キ リ ト リ 線

5月3日の意見広告には賛同者のお名前を都道府県別に掲載します。広告紙面にお名前の掲載を希望されない方は左記の払込取扱票通信欄の「不可」の項に必ず○印をつけてください。

- 【個人】
秋葉忠利（前広島市長）
石川逸子（詩人）
伊藤千尋（国際ジャーナリスト）
上野千鶴子（社会学者）
内田雅敏（弁護士）
海老坂武（フランス文学者）
太田修平（障害者の生活保障を要求する連絡会議事務局）
太田昌国（編集者・評論家）
岡村幸宣（原爆の図丸木美術館学芸員・専務理事）
神田香織（講談師）
黒沼ユリ子（ヴァイオリニスト・エッセイスト）
財津昌樹（グラフィックデザイナー）
坂元良江（テレビプロデューサー）
佐々木寛（平和学者・新潟国際情報大学教授）
- 清水雅彦（日本体育大学教授）
杉原浩司（武器取引反対ネットワーク [NAJAT] 代表）
武井由起子（弁護士）
竹内良男（ヒロシマ講座）
竹信三恵子（ジャーナリスト）
田中優子（法政大学名誉教授）
寺尾紗穂（音楽家・文筆家）
永井愛（劇作家・演出家）
永田浩三（武蔵大学名誉教授・ジャーナリスト）
中野晃一（上智大学教授）
中山千夏（作家）
花崎皋平（著述業）
菱山南帆子（総がかり行動実行委員会共同代表）
玄順恵（画家）
松浦悟郎（カトリック司教）
- 武藤一羊（ピープルズ・プラン研究所運営委員）
武藤類子（福島原発告訴団団長）
森達也（映画監督・作家）
山内敏弘（憲法研究者）
山口幸夫（原子力資料情報室・共同代表）
山田朗（明治大学教授）
山本巨（俳優）
山本義隆（予備校講師・10・8 山崎博昭プロジェクト発起人）
湯川れい子（音楽評論・作詞）
渡辺厚子（「日の丸・君が代裁判」元原告）

【団体】
赤とんぼの会／声なき声の会／市民の意見
30・関西／人権平和・浜松／第九条の会ヒ
ロシマ／日本カトリック正義と平和協議会／
ピース9の会／被爆二世の会

意見広告掲載は 2026 年 5 月 3 日（憲法記念日）

◎誰でも参加できる紙上のデモ

どなたでも市民意見広告運動の賛同者になっていただけます。まわりの方にも市民意見広告運動への参加をすすめてください。このチラシ（点字版あり）は送料とも無料でお送りしますので、必要枚数をご請求ください。

◎意見広告の掲載は2026年5月3日（憲法記念日）

2026年5月3日の広告は都道府県別に賛同者名を紙面に掲載し、それを活かしたデザインです。掲載紙は未定ですが、複数の全国紙他、できるだけ多くの紙面への掲載をめざします（前回2025年期は朝日新聞、大分合同新聞、沖縄タイムス、毎日新聞、八重山毎日新聞、琉球新報の6紙に掲載）。

◎意見広告で訴える内容

実際に掲載する広告の文面は、このチラシの内容をもとに、今後の状況変化を反映させて決定します。

◎賛同金の送り方と締切日

2026年期（第28回）市民意見広告運動に賛同される方は、このチラシのゆうちょ銀行「払込取扱票」（振替用紙）に必要事項を記入してご送金ください。個人賛同金1口2,000円、団体賛同金1口4,000円です。**締切日は2026年4月6日（月曜日）**です（締切日を過ぎての賛同は紙面にお名前を掲載できませ

ん）。その他の送金方法については、事務局までお問い合わせください。

◎必要事項は詳しくご記入ください

お名前には必ずフリガナをおつけください。送付物が確実に配達されるように、集合住宅にお住まいの方は部屋番号まで、ペンネームなどで賛同される方は表札のお名前を「方・気付」の形で付加してください。また、携帯電話番号をお書きいただくと、転居時など事務局からの連絡が必要になった際の確認が容易になります。

◎意見広告紙面への賛同者氏名掲載の可否について

広告紙面にお名前の掲載を希望されない方は、「払込取扱票」の「意見広告紙面への名前掲載の可否」の確認欄で、必ず「不可」の項に○印をつけてください（可・不可のどちらにも○印がないなど確認できない場合は、原則として掲載しますのでご了承ください）。

◎意見広告掲載紙名の通知

広告掲載紙名は決定次第、市民意見広告運動のウェブページで公表します。また、2026年4月23日までに返信先明記の往復ハガキを事務局にお送りくださった方には、掲載紙名を折り返しお知らせします。

（ご注意）
・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼付

（印）

この場所には、何も記載しないでください。

